

八重山漁協女性部活動支援

八重山農林水産振興センター 中村勇次

1. 目的

八重山地区は、他地区に比べさしみ屋が多く、昔から旦那さんが獲ってきた魚を奥さんが販売するという経営手法がとられてきた。八重山漁協女性部でも、そのようにさしみ屋を経営・あるいは勤務している部員が多数を占めている。女性部に関連したさしみ屋は約30店舗あり、それ以外のさしみ屋を含めると相当数になると思われる。女性部員は、このようなさしみ屋経営のかたわらで魚食普及活動を行っていることから手が行き届かないことも多い。そこで、可能な限り女性部活動を支援していくことにした。

2. 材料及び方法

八重山漁協女性部は、年間を通して各種イベントでの出店や小中学校の体験漁業と連携した魚食普及活動などを行っている。出店、魚食普及を行う際には、事前に集まりを持って内容・役割分担を決定してから取り組んでいる。この事前調整での助言やイベントへ参加しての手伝い等を行った。

3. 結果及び考察

モズクの日に関連した活動として、4月26日に行われた石垣島トライアスロンにおいて、モズクを中心とした料理（モズク天ぷら、モズクじゅーしー、モズクひらやーちー、乾燥モズクなど）を販売した。モズク酢の物は、生ものであることから八重山保健所から指導が入り急遽出品しないことになった。

7月25日に漁協女性部定期総会を開催したが、女性部長を含めた役員が今期限りで退任する意向を示しており、次期役員が選任さ

れないまま総会を終了した。その後、組織の再編に向けた集まりを数回実施してから、8月15日に臨時総会を開催して新会長及び新役員を決定した。

10月25日に石垣中学校生徒を対象に漁業体験学習を実施。台風が近づいていたため、青年部が八島の魚類養殖場を見学させてから漁協へ。女性部が引き続き競り市場にてヤイトハタ解体を体験後、海人館へ移動して調理実習を行った。全員で試食後片付けをしてから終了した。

2月21日に川原小学校において魚食普及体験学習を行った。魚食普及体験学習では、生徒と一緒に魚の解体・調理を行い、カジキのバター焼き・アーサ汁・マグロ刺身・マグロ寿司を作って試食を行った。体験学習の最後に小学生が作った漬け物（大根の牛乳漬け）をお土産としてもらった。後日、川原小学校から体験学習の感想文が届けられた。

3月14日に開催されたお魚まつりへ出展参加した。出店では、アバサー汁・まぐろそば・なまり節・モズク天ぷら・魚天ぷら・くわじゅーしー・イカゲソ唐揚げ・セーイカチャンプルー・ぐるくん唐揚げの販売と、受託販売で昆布巻き・かまぼこ・味付けモズク・油味噌を販売した。まつりでは、魚の無料配布やもずくつかみ取り等も行っており、大勢の人出で賑わった。

4. 今後の課題

ここ数年離島再生交付金等の影響で女性部に関連するイベントが増えたことで役員にだいたい負担がかかっていたようである。ほとんどの女性部員は刺身屋に勤めていることから、

仕事を休んで活動に参加している。

今回は、臨時総会で何とか役員が決まったことで休部は避けられたが、女性部員の負担を軽減できるような活動の仕方を考えていかねばならない。今後は、活動回数の削減や負担を部員に割り振るなど事務局を中心として積極的な改善が望まれる。これらの問題が解決されない限り、また次の総会において役員の選出に苦慮することになるだろう。若い女性部員も少数ながら加入してきていることから、これらの問題を早急に解決し、漁協女性部の活動が益々活発になることを願うものである。



③ 10月25日に実施した体験漁業での調理体験実習の様子



① 4月26日の石垣島トライアスロン交流パーティー出店の様子



④ 10月25日に実施した体験漁業での調理体験実習の様子



② 4月26日の石垣島トライアスロン交流パーティー出店の様子



⑤ 10月25日に実施した魚食普及体験学習の試食会の様子



⑥ 2月21日魚食普及体験学習のマグロ解体ショーの様子



⑨ 2月21日魚食普及体験学習の試食会の様子



⑦ 2月21日魚食普及体験学習の調理体験実習の様子



⑩ 2月21日魚食普及体験学習終了後の記念撮影



⑧ 2月21日魚食普及体験学習の調理体験実習の様子



⑪ 3月14日に開催された第1回お魚まつりの様子